

「識字教員養成コース」を修了した識字教員へのインタビュー

～『21 日間で学んだことは?』『どんな識字教員になりたいですか?』～

■ パイ・スバン先生・プノトーイ村担当

『私はこのコースで大人の教育に対する教授法を学びました。
私は今まで幼児教育に関わってきましたが、大人と子供への教授法では異なっているということを学びました。受講者にはソフトに話しかけ、良好な関係が築けるようベストを尽くしたいと思います。』



■ ソン・チャン先生・チャンコン村担当

『私は識字教育には ASAC*時から長年関わっていますが、今回のコースは詳細まで網羅していて良かったと思います。新しい教科書は旧バージョンと比べ、生徒にとって分かりやすい内容になっていると思います。今回も生徒の皆さんに自分が持っている知識、技術を共有できるよう、一生懸命取り組みたいと思います。』



■ マウ・メアス先生・コンポート村担当

『私は ASAC*時代に識字教員として協力していたこともありましたが、数年前になるため、忘れてることが多く、思い出すいい機会になりました。私はどの生徒に対しても平等に接し、自分の知識を皆さんと共有できるようベストを尽くしたいと思います。ありがとうございました。』



■ サオ・サエン先生・ポルツセイ村担当

『このコースで学んだことは自分にとって全てが新しいことでした。
大人に対しての教授法を学べたことはいい学びになりました。
もっと技術を磨き、生徒から信頼されるいい先生になりたいです。』



*ASAC : ASAC カンボジアに学校を贈る会。

閉会に伴い、2018 年より識字教育事業を JHP が引き継ぎ実施しています。